

PEO 構造問題プロジェクト 研究成果概要

「太平洋地域における財政政策の課題」

(Fiscal Policy Issues in the Pacific Region)

財政収支のダイナミクス

太平洋地域経済の財政構造は、集権化の程度・政府規模・財政収支構成のいずれをみても多様であるが、財政収支の動向を見ると、先進工業国と途上国グループはそれぞれ特徴的なダイナミクスを示している。

○先進国では、反循環的な財政運営が政府債務のダイナミクス＝中期的なスイングを生んでいる。

○他方、途上国では、開発志向の拡大的財政政策の局面と、その結果としての財政不均衡解消のための、その後の財政調整局面とが交互に現れることが多い。

先進工業国における財政再建

過去20年間の経験は次のように要約できよう：

○財政再建成功の一つの有力な要因は、支出削減、なかでも補助金・移転支出のそれであり、支出削減は「財政枠組み」の強化によって実現された。ただし、財政収支ベースの維持が財政再建の前提条件であることは変わらない。

○しかしながら、財政再建の国内需要への短期的インパクトについては確たる結論が得られていない。したがって、財政再建に当たってはその短期的影響については慎重な配慮が必要である。

途上国の財政再建

○1990年代には太平洋地域の途上国経済は相当程度財政再建を実現してきたといつてよい。

○にもかかわらず、アジア経済危機はいくつかの途上国経済に大きな打撃を与えた。その結果、短期的に必要な拡大的財政政策と長期的に重要な財政再建をどう両立させるかが緊急の政策課題となっている。コロンビア、エクアドル、インドネシア、ペルー、フィリピンとタイが特に深刻である。